

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】令和 7 年 1 月 30 日(2025.1.30)

【公開番号】特開 2023-37811(P2023-37811A)  
【公開日】令和 5 年 3 月 16 日(2023.3.16)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-050  
【出願番号】特願 2021-144599(P2021-144599)  
【国際特許分類】

B 3 2 B 3/10(2006.01)  
B 2 3 K 26/57(2014.01)  
B 2 3 K 26/00(2014.01)  
B 3 2 B 7/023(2019.01)

10

【F I】

B 3 2 B 3/10  
B 2 3 K 26/57  
B 2 3 K 26/00 B  
B 3 2 B 7/023

【手続補正書】

20

【提出日】令和 7 年 1 月 22 日(2025.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の形状に成形された透明樹脂基材を構成する透明樹脂層と、  
前記透明樹脂層に沿って形成された第 1 の着色材料で構成される第 1 の膜と、  
前記透明樹脂層に沿って形成された第 2 の着色材料で構成される第 2 の膜と、の積層体  
として構成され、  
前記第 1 の膜は最も表面側に配置され、  
前記表面側から視認したときに、透明領域、前記第 1 の膜の領域、前記第 2 の膜の領域  
の 3 つの領域を備えることを特徴とする樹脂成形品。

30

【請求項 2】

前記表面側から視認したときに、前記第 2 の膜の領域は、前記第 1 の膜の領域と、前記  
透明領域との間に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の樹脂成形品。

【請求項 3】

前記透明樹脂層が、前記第 1 の膜と、前記第 2 の膜との間にあることを特徴とする請求  
項 1 または 2 に記載の樹脂成形品。

40

【請求項 4】

前記第 2 の膜が前記透明樹脂層よりも前記表面側にあることを特徴とする請求項 1 また  
は 2 に記載の樹脂成形品。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の樹脂成形品を備える車両用部品。

【請求項 6】

所定の形状に成形された透明樹脂基材を構成する透明樹脂層と、前記透明樹脂層に沿っ  
て形成された第 1 の着色材料で構成される第 1 の膜と、前記透明樹脂層に沿って形成され  
た第 2 の着色材料で構成される第 2 の膜とを備え、前記第 1 の膜が前記第 2 の膜に対して

50

表面側に配置された積層体を、前記表面側から、前記第 1 の膜に焦点を合わせてレーザーを照射して前記第 1 の膜の一部を剥離し、

前記積層体を、前記表面側から、前記第 2 の膜に焦点を合わせてレーザーを照射して前記第 2 の膜の一部を剥離して、

前記表面側から、透明領域、前記第 1 の膜の領域、前記第 2 の膜の領域の 3 つの領域が視認されるようにしたことを特徴とする樹脂成形品の製造方法。

【請求項 7】

前記積層体は、前記透明樹脂層が、前記第 1 の膜と、前記第 2 の膜との間にあることを特徴とする、請求項 6 に記載の樹脂成形品の製造方法。

【請求項 8】

前記積層体は、前記第 2 の膜が前記透明樹脂層よりも前記表面側にあることを特徴とする請求項 6 に記載の樹脂成形品の製造方法。

10

20

30

40

50